報　告　書

日時	令和7年11月10日（月）　12時30分～16時30分
活動名	令和7年度埼玉県高等学校PTA連合会 高校教育とPTA専門委員会研修会
参加者	中里奈々
報告者	中里奈々

報告内容

令和7年度　埼玉県高等学校PTA連合会
高校教育とPTA専門委員会研修会
会場:埼玉会館　小ホール

〈講演会〉
講師　風景写真家　佐藤　尚　氏
演題:『写真で広がる視点、出会いで変わる自分』

司会者からの紹介で、「佐藤氏は、今年7月に開催された関東地区高等学校PTA連合会大会･埼玉大会のパンフレット表紙の写真を撮影された方です。」の紹介に会場が沸き、そのあと佐藤さんは、2部構成のうち1部としては舞台スクリーンに投影された埼玉県内の風景写真を見ながら解説されました。埼玉の風景写真1枚〈そのものに〉の中に自分の想いをかぶせて物語を作ることの楽しさがあり、撮影時には暮らす人とのふれあい･優しさに出会え、人と人とのつながりを感じている。コロナ禍では、近所の散策を通して動物や自然を題材に撮影し、次の日も出会える喜びがあり、新たな発見にもつながった。第2部としては、ワークショップや47都道府県の風景写真撮影時の話しをされ、写真は自由、見え方は様々であるが、皆さんにも楽しんでいただきたい、と最後に3分ほどのスライドショーが上映され、会場が温かな雰囲気に包まれた。
1枚の写真を通して、撮影者と見る側との心の会話が弾んでいくように感じられとても楽しい時間を過ごせました。

〈研究協議〉実践発表4校
■①東部支部　埼玉県越谷南高等学校
［持続可能なPTA活動を目指して］
昭和49年4月に越谷市内3校目の全日制普通科の共学校として開校

し、創立52年目を迎える県立高等学校。平成5年4月に新たに外国語科を併設し、県東部地域有数の国際理解教育推進校として外国語科教育に注力している。学校規模は、1学年9クラス(うち1クラスが外国語科)、全校生徒数は1056名の大規模校。電車通学が全体の6割を超す。

★PTA組織:全校生徒の保護者と教職員で構成。

本部会:会長、副会長、学年委員長、専門委員長に後援会の会長、副会長、幹事及び事務局である教職員を加えた人員で構成。

理事選出:入学式当日に各学年36名(クラス4名)が選出され、その中から副会長4名が選出される。その他の理事は総務･生活･進路･広報の4つの専門委員会に振り分けられる。

専門委員会は理事24名(各学年8名)で構成で、以下は主な活動。

1.総務委員会　文化祭でのPTA企画の立案･運営(駄菓子の販売→純利益を生徒会に還元する活動に取り組む。※PTA本部によるスクールキャラクター柄の煎餅販売もある。)

2.生活委員会　学校行事における保護者受付対応:体育祭や文化祭など、来校した保護者が円滑に観覧できるよう配慮している。

3.進路委員会　バスを利用しての大学見学会を企画立案及び運営。例年理系･文系ごとにバス1台を確保し、午前･午後と2校の大学を訪問。(保護者自身の研修活動の場としている。)

4.広報委員会　学校行事等の取材活動･PTA広報誌「南の風」年2回の発行。12月号は主に学校行事の特集。3月号は卒業記念号。

☆本部会や理事会は、基本的にPTA会長･後援会会長を中心に本部役員がその都度役割を分担して運営されている。

☆専門委員会及び学年委員会は、基本的に理事会の開催に合わせて同日に実施。

☆「無理のない範囲で対応できる人が対応する」ことを大切にしており、今後の学年理事選出の総数削減について、本部会などで議論し組織のスリム化を目指すこととなっている。

■②西部支部　埼玉県立坂戸高等学校

［高校教育におけるPTAの役割再考と未来志向の活動に向けて］

昭和46年の創立以来55年目を迎え、県西部･入間地域における全日制共学の中核的進学校。各学年に普通科8クラス･外国語科1クラスの定員360人を維持する大規模校。土曜授業なし、45分✕7コマ授業✕週5日で年間34単位を取得する教育課程をベースに、「自学の文化」を標榜し、生徒に奨励している。普通科と外国語科を併設。

★PTA･後援会組織

〈構成〉

・本部理事(PTA会長・副会長を含む)
・理事(広報委員会・学年委員会・指導委員会)
・監事、幹事、顧問、校内理事
・後援会役員
〈事業・役割と構成人数〉
・本部理事22名:方針の検討と決定(予算、事業計画、会則改定など)、研修への参加
・広報委員会24名:広報誌「さかこう」の発行(年2回)
・学年委員会18名:講習会と研修旅行の開催、卒業記念品の贈呈
・指導委員会22名:子どもの進学を考える会の開催(年2回)、ロードレース大会サポート
・監事9名:会計監査
・後援会役員9名:予算の策定や執行、研修への参加
★具体的な活動
コロナ禍で活動の見直し、地区制の廃止、役員の人数削減や専門委員会の統合などのスリム化を進めてた。令和6〜7年度にかけてPTA・後援会の役割を整理しつつ新たな活動を進めている。
①保護者と教育が共に教育環境の拡充振興を図ること
②学校経営に必要な資金支援を行うこと
③PTA・後援会の役割や貢献、活動や予算、意思決定のプロセスの明確化と発信すること
これらは校内保護者へのアンケートや、OB、他校PTA.教育局、県議会議員など様々な立場の方との議論をしているが解決方針は見出せてはいない。まずは事実や本質を知り理解した上で、出来ることを始めるべきで子どもたちのために、今取り組むべきことへ正面から向き合う組織を目指している。

■③南部支部　埼玉県立上尾高等学校
［上尾高校におけるPTA活動］
昭和33年4月に上尾・桶川・伊奈共立上尾商業高等学校として開校し、昭和35年4月に県立移管が行われる。昭和36年には定時制課程が設置され、本年度創立68年を迎える。全日制は普通科(1学年6クラス)と商業科(1学年3クラス)があり、定時制(普通科)を含めると県内有数の大規模校となっている。
★PTA組織:全校生徒1.082名の保護者及び教職員を加えて、1.154名の会員が所属。
本部役員:会長、副会長(8名)、常任理事(5名)、幹事(10名)、監事(3名)の27名と、各クラス4名の学年理事と渉外部の教職員が中心となり運営。

4専門部と各学年委員会
・生徒指導委員会:生徒の安全指導に関する事項
(生徒の下校時間に合わせて『夏の挨拶運動』や文化祭の巡回)
・進路指導委員会:進路指導に関する事項
(PTA進路講演会を実施。大学受験予備校で長年進路指導に携わった方による講演)
・施設保健委員会:学校施設・保健に関する事項
(生徒の充実した学校生活を支援するため、教頭先生の案内で、学校施設見学会及び食堂試食会を実施。)
・広報委員会:学校広報に関する事項
(年2回のPTA広報誌発行
・学年委員会:学年行事に関する事項
(1学年:クラス懇談会、2学年:修学旅行の保護者向け事前説明会のお手伝い、3学年:卒業祝会、その他文化祭でのバザー販売などを行い、教育活動の充実に向けて売り上げ金を生徒会に寄付するなどの活動)
その他としては、関東地区高等学校PTA連合会埼玉大会への参加、全国高等学校PTA連合会三重大会への参加などを通して、他校の実践事例などを知ることができた。
どのような形で活動していくのがよいのか、他校の先進的な取組などを参考にしながら、本校の特色を生かしながらPTA活動をより良いものにしていきたいと考えている。

■北部支部　埼玉県立熊谷高等学校
［高校教育とPTA］
明治28年、埼玉県第二尋常中学校として創立し、今年で創立130年目を迎える。全日制課程には、第1年次から第3年次まで各8クラス、定時制課程には、第1学年から第4学年まで47名の生徒が在籍している。平成28年から、進学型単位制を導入し、幅広い科目選択や少人数指導の授業が可能となる。
★PTA組織
(1)本部役員:会長1名、副会長11名、監事3名、理事13名、監事6名で構成
理事会の中に「総務委員会」が設置。(事業計画案及び予算案を作成し、総会または理事会の議決を経て、事業計画を実施)
広報委員会:40キロハイクや文化祭、体育祭などの学校行事を取材「熊高PTA新聞」を年3回発行し、全校生徒に配付
図書館活用委員会:放課後の延長開館のサポート、土曜日の一般開放(年間25回)、PTA会員対象の教養講座の実施(12月)
(2)支部PTA

9支部があり、各支部長は本部の理事を兼ねる。
①熊谷:支部総会(4月開催、5月の総会へ向けて準備)文化祭の参加
②行田･羽生:支部総会、卒業生を招いた進路講演会
③深谷:支部総会、大学への研修旅行
④本庄:支部総会、進路講演会、長瀞10キロハイク
⑤寄居:支部総会、大学への研修旅行、40キロハイク給水支援
⑥江南:支部総会、40キロハイク給水支援
⑦鴻巣･北本:支部総会、進路講演会
⑧上尾･桶川:支部総会、本校支部担当教諭による進路講演会
⑨秩父:支部総会、40キロハイク給水支援、秩父支部だより「かわら版」の発行(年2回)、本校支部担当教諭による進路講演会、大学への研修旅行

PTA活動は保護者の方々に学校を理解してもらうよい機会と考え、活動を通じて、生徒と保護者が体験を共有し語り合うことは、家庭での教育にも大きな効果がある。これからも、歴史と伝統を大事にしながらも、PTA･地域･学校が一体となり新たな歴史を紡ぎ、時代に挑戦していきたい。

今回の実践発表4校は、普通科・専門学科・総合学科･定時制(普通科)などの学校でしたが、我が校と同じ大規模校でした。活動や組織の在り方については、かなり時間をかけて新たな活動を進めているところや、様々な課題について他校の取組みなどを参考にしながら学校の特色を生かしつつ、より良いPTA活動を目指している学校もあり、同様な取組みを行っている我が校にとってとても参考になりました。このような機会をいただきまして誠にありがとうございました。